

社会科学の実践

Virtual

職業と学びーキャリアデザインを考える

講師：レンゴー株式会社 代表取締役会長兼社長 大坪 清

神戸大学凌霜会・六甲台後援会寄附講義「社会科学の実践」

2020年1月24日（金）於：神戸大学



皆さんこんにちは。この寄附講義は毎年実施しており、今年で5年目になります。

皆さんは、分からないことがあると、すぐにスマートフォンでチェックすることが多いと思います。その前に、まず自分の頭で考えることが大切です。今の日本で問題となっているのは、皆さんのような若い方々の自分の頭で考えるという能力の多くが損なわれていることです。なぜかという、全てスマートフォンに頼り切っているからです。サイバーに頼り切るとするのは非常に大きな問題なのです。

私は、サイバーに頼り切った人間のことをサイボーグと呼んでいます。サイボーグになってしまったら、皆さんがいくら優秀でも、企業はなかなか受け入れないでしょう。サイボーグになる前に、まず自分は人間であることを忘れないようにしてください。サイバーとフィジカルのシステムをしっかりとわきまえ、バランスをとっていかないといけない。そのことをC P S (Cyber Physical System) といいます。サイバーに頼り切るのではなく、まずは自分の頭で考えるということをお願いしたいと思います。

先ほどご紹介いただいたとおり、私はレンゴー株式会社の会長兼社長のほかにも、多くの団体の役職についていますが、本日はレンゴーのことも多少紹介しながら、皆さんが社会に出たときにどのようなことが必要になるのかということの、基本的なところをいくつかご紹介します。

私は国際段ボール協会（I C C A : International Corrugated Case Association）の会長を2年間務めました。その後レンゴーは世界的に有名になっていきます。皆さんも英語を勉強していると思いますので、まずは英語版の会社紹介V T Rをご覧ください。

大体分かっていただけただけでしょうか。それではこれから日本語でレンゴーがどのような会社であるかご紹介しましょう。

1909年に、レンゴーの創業者である井上貞治郎翁が、日本で初めて段ボールをつくりました。「段ボール」という名前も井上貞治郎翁が名付けました。段ボールは、パッケージの中で一番外側となる外装ですが、その中身には、紙器や、軟包装のセロファンで包んだパッケージや、フィルムで包んだパッケージがあります。それらパッケージを総合的に提供できる会社にしていこうということできざまな取組みを進めてきた結果、私が社長に就任してから20年が経ちますが、当時の3倍以上の規模の会社になりました。段ボールの国内シェアは30%を超えるほどになっています。国内で流通している段ボール箱の3分の1をレンゴーがつくっているということになります。

<日本における段ボール産業の発祥>

1909 (明治42)年
当社創業者 井上貞治郎が
日本で初めて段ボール産業を興す

明治
大正
昭和
平成

2019 (平成31)年4月12日
創業110周年

令和 次の100年へ向けて更なる飛躍を!

百年を創った男。

GPI
RENGO

当社は、段ボール、製紙、紙器、軟包装、重包装、海外という6つのコアビジネスを中心に経営を行っています。これを「ヘキサゴン経営」と呼んでいます。コアビジネスの中でも、段ボールではレンゴーが日本のトップシェアを誇っています。そのほか、神戸大学の売店でも売っていると思いますが、おにぎりのパッケージも、レンゴーグループで生産しています。

< GPIレンゴー ~ 6つのコア事業 ~ >

パッケージプロバイダー

ゼネラル・パッケージング・インダストリー

段ボール

製紙 紙器

重包装 軟包装

海外

RENGO GROUP

[製紙] 段ボール原紙、白板紙等

[段ボール] 各種段ボール製品

[紙器] 一般紙器、マルチパック等

[軟包装] フィルム包装、ラベル等

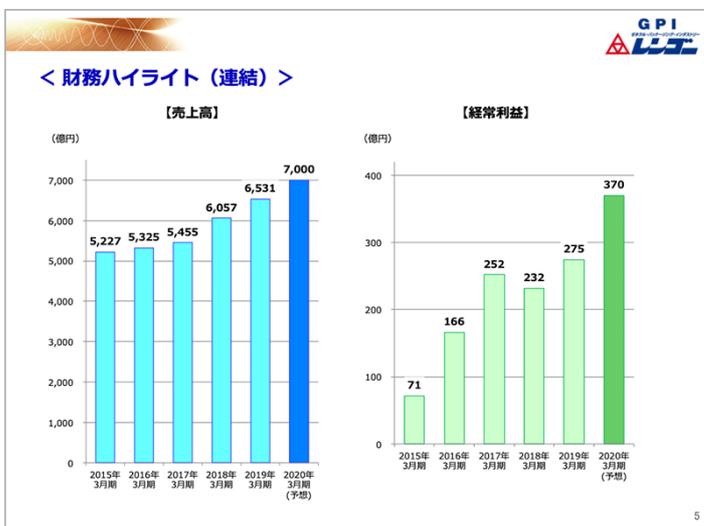
[重包装] ポリエチレン重袋、フレッシュコンテナバッグ等

GPI
RENGO

レンゴーグループは海外展開を積極的に推し進めており、アジア・北米・欧州に157工場、28拠点を展開しています。



連結業績については、2020年3月期は売上高7,000億円、経常利益は370億円程度となる見込みです。



それから沿革ですが、最近は特に重包装 (heavy duty packaging) について世界的に展開を進めています。例えば、木材や金属製のコンテナを段ボールに変えていくということで、重包装を開発し、どんどん置き換えが進んでいる状況です。なかでも、自動車部品、電機部品を包むパッケージについて、十分な強度を持たせた段ボールへの移行を進めています。

2019年8月に、重包装部門の中心であるトライウォール社が、トライコー社というドイツ有数の重包装企業を買収しました。トライウォール社は世界一の重包装グループになるだろうと考えています。

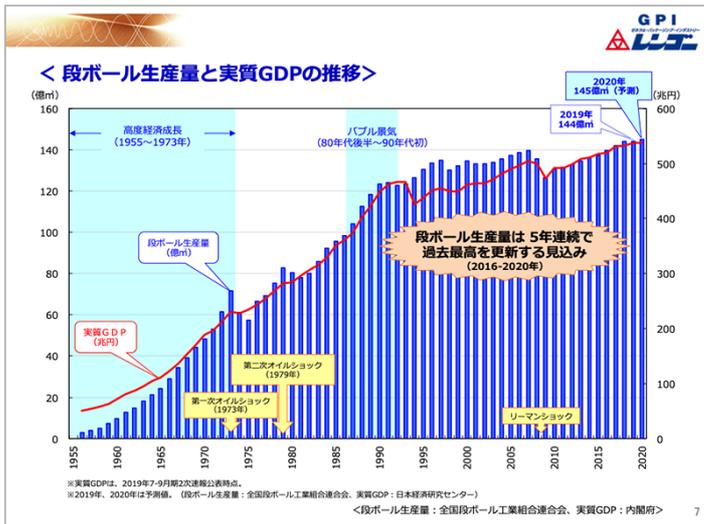
GPI
LIFE

< 沿革 >

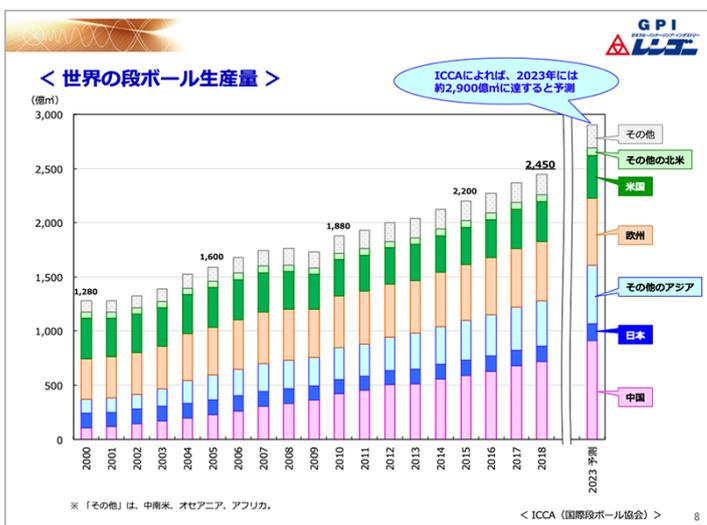
1909(明治42)年	井上貞治郎が三盛舎の名称で我が国初の段ボール事業を創始 (段の付いたボール紙を「段ボール」と名付けた。)
1920(大正 9)年	聯合紙器株式会社を設立
1972(昭和47)年	社名を「レンゴー株式会社」に変更
1976(昭和51)年	福井化学工業を系列化
1990(平成 2)年	マレーシアで段ボール合弁事業に資本参加し、海外事業に進出
1998(平成10)年	朋和産業の株式を取得し完全子会社化、軟包装事業に進出
1999(平成11)年	セッツを合併、質・量ともに 製紙・段ボールの一貫メーカーへ
2009(平成21)年	創業100周年 / 日本マタイの株式を取得し子会社化、重包装事業に進出
2011(平成23)年	米国ハワイ州にレンゴー・パッケージング社を設立
2016(平成28)年	トライウォール・ホールディングス社を子会社化
2019(平成31)年	創業110周年 “Vision 1 1 0”

6

国内の段ボール生産量は、GDPと全く平行に推移しています。日本のGDPと全く同じ動きで段ボールの需要も増えているということです。例えば今から10年以上前、リーマンショックの時にドンとGDPが落ちましたが、段ボール生産量も落ち込んでいます。



世界の段ボール生産量は約2,500億²mです。そのなかで、近年の中国の伸びは圧倒的です。2000年までは日本の方が多かったのが、2001年に逆転され、現在は日本の4倍以上の生産量および需要が中国にあるということです。



“Less is more.”は、レンゴーの環境経営のキーワードです。“Less energy consumption（エネルギーの消費はできるだけ少なく）”、“Less carbon emissions（二酸化炭素の発生はできるだけ少なく）”、“High quality products with more value-added（より付加価値の高い高品質な製品づくり）”を目指しています。

先日スイスでダボス会議が開催されましたが、そこで問題となったのが“Less carbon emissions”です。

carbon（二酸化炭素）の発生を極力減らさなければ、地球温暖化がどんどん進んでしまいます。昨日まで北海道にいたのですが、今年は雪がほとんど降っていないということでした。ほとんどというとオーバーかもしれませんが、例年に比べて積雪量が3分の1くらいだそうです。これはやはりcarbon emissionsが関係していると思っています。carbonの発生をいかに少なくするかが大切ですが、化石燃料の代替品であった原子力発電所が震災によって事故を起こし、原発そのものについての考え方が変わってきているのが非常に問題だと思います。carbonを発生させずにエネルギーをつくっていくということになると、風力、太陽光、あるいは海といった自然のエネルギー源を使わざるを得ないということになります。そうすると今度はエネルギーを生み出すためのコストがどうなってくるか、そのバランスをどうしていくかが今非常に問題となっています。

かといってエネルギーを全く使わず、電気もガスも使わずに人間は生活できません。このバランスをどのようにとっていくかというのが今問題になっています。



北海道では、北海道神宮へお参りに行ったのですが、皆さんは初詣には行きますか？また、初詣は、お寺と神社、どちらへ行きますか？北海道神宮には、中国や台湾から多くの観光客が参拝に来ていましたが、神社でのお参りの作法が全く分かっていないようでした。皆さんは、神社でのお参りの作法をご存じでしょうか？

まず、神社には必ず鳥居があります。鳥居をくぐったら、そこからは神の社です。神の社では、道の真ん中を歩いはいけないことになっています。お寺は道の真ん中を歩いてもかまいません。そして参拝の作法は、二礼二拍手一礼です。これをきちんとできている人は非常に少ないと思います。このようなことは基本的なこととして知っておいてください。

例えば、伊勢神宮や平安神宮といった神宮と神社とはどう違うのでしょうか。神と仏とはどう違うのでしょうか。日本人として、このような基本的な常識は知っておいていただきたい。海外の方に日本を説明するとき、このような基本的なことをさっと答えられない若い方が非常に多くなっています。私がスマートフォンに頼るなどというのは、そういうことでもあります。基本を知らないと、日本人としての生活の基礎ができていないということになり、それがだんだんと日本全体の問題となってきたと思っています。本地垂迹説(ほんじすいじゃくせつ)という言葉を知っている人はいるでしょうか。神々は、さまざまな仏が姿を変えて現れたとする考え方で、この本地垂迹説によって、神道と仏教は上手に調和していきました。余談になりましたが、北海道へ行きこんなことを考え、今こうして講義をしています。

2025年に、大阪の夢洲で万国博覧会が開催されます。万博を日本へ誘致する際、最終的にロシア、アゼルバイジャンとの競争になりました。日本が誘致に成功した最大の要因は、iPS細胞を発見した山中先生の存在だったと思います。山中先生は神戸大学の医学部を出ましたが、神戸大学の医学部には研究者がほとんどいなかったということで、京都大学に移り、iPS細胞を発見するに至ったのです。

山中先生は、「大坪さん、私は医学部だけれども本当にお世話になったのは凌霜会です。経済、経営、法学部、六甲台キャンパスでお世話になったのです。ラグビー部に入って、柔道部に入って、その時に一緒に過ごしたのはほとんど経済、経営、法学部の学生だったのです。私は神戸大学には今のところノスタルジーを感じていますが、残念ながら医学部として戻って何かしようと思っても、そのファシリティがないのです。」と話しておられました。神戸大学も総合的な大学になってきているわけですから、その辺りを今後どうしていくのかということについても皆さんが考えていなければならないことだと思います。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン“Designing Future Society for Our Lives”」です。これはSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）のテーマを元にしてしています。SDGsも同様に、Future SocietyをDesignしていくことが重要である、としています。これからは、Designという言葉が重要になっていきます。何もかも頼るのではなく、将来の社会を自分でDesignする、これはSDGsにも通じることです。



The graphic features a night view of the Osaka Bay area with various bridges and tunnels labeled: Kotohira Bridge, Yumehama Bridge, and Yumesaki Tunnel. A green banner at the top reads '2025年 国際博覧会 大阪・関西 で開催！'. The text 'EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN' is prominently displayed on the left. Logos for GPI and UTE are in the top right corner.

＜ 2025年 大阪・関西万博 ＞

**2025年 国際博覧会
大阪・関西 で開催！**

**EXPO
2025**
OSAKA, KANSAI, JAPAN

テーマ
いのち輝く未来社会のデザイン
“ Designing Future Society for Our Lives ”

開催期間
2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間

開催場所
大阪 夢洲 (ゆめしま)

【2025年 大阪・関西万博がめざすもの】

- ✓ 持続可能な開発目標 (SDGs) が達成される社会
- ✓ 日本の国家戦略 Society5.0 の実現

11

企業で今重要とされているのは「ESG」（environment（環境）、society（社会）、governance（管理））です。「環境」と「社会」を整えた組織をつくり、それを「管理」する。これが重要なのです。

これまではCSR（Corporate Social Responsibility）という言葉がありましたが、それが進み、CSV（Creating Sharing Value）という言葉ができました。良いvalue（価値）をつくり上げることが重要であるということです。それからESGに代わっていき、今はSDGsが主流となっています。SDGsには17の目標があり、169個のターゲットがあります。



当社のSDGsの取組みは「資源をいかに大事にするか」であり、そのひとつは、先ほど申しあげた“Less is more.”です。

“Less energy consumption（エネルギーの消費はできるだけ少なく）”、

“Less carbon emissions（二酸化炭素の発生はできるだけ少なく）”、

“High quality products with more value-added（より付加価値の高い高品質な製品づくり）”

エネルギーや二酸化炭素の発生をできるだけ少なく、同時に、より付加価値の高いものをつくるのが大切です。リサイクルシステムをつくり、使われた資源をリサイクルしていかなければなりません。レンゴの段ボールの原材料は、98%リサイクル原料です。皆さんが使った段ボールを回収し、再びパルパーにかけて段ボール原紙にして、そこからまた段ボールをつくっています。



SDGsは、“5つのP”に集約されます。

People（人間尊重）、Partnership（友情）、Peace（平和）、Planet（地球）、Prosperity（繁栄）、この“5つのP”が、SDGsのごくごく基本的なことであると思います。

GPI
Green Partnership Initiative

< 持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) >

“SDGsの本質”は“5つのP”である

People	人間尊重
Partnership	友情
Peace	平和
Planet	地球
Prosperity	繁栄

14

今、一番問題になっているのは、プラスチックの処理です。紙はセルロースであるためリサイクルが可能ですが、プラスチックはリサイクルできません。ペットボトルやフィルムなどは目に見えますが、ファンデーションや歯磨き粉、これらにプラスチックビーズが入っているのをご存じでしょうか。例えば、洗顔で水に流れたファンデーションが、やがて海に流れこみ、魚が食べて、魚の体内に蓄積されます。マイクロプラスチックビーズを生分解可能なものに変えていかなければなりません。

生分解可能なものは、どのようにしてできるのでしょうか。太陽、水、光合成から生まれるセルロースはリサイクル可能な原材料です。マイクロプラスチックビーズをセルロースで代用し、マイクロセルロースビーズをつくることが重要であり、レンゴーはすでに手掛けています。日本の化粧品メーカーも最近ようやくそれに気付き、一部で商品化されていますが、まだ多くのマイクロプラスチックビーズが使われています。これをどう変えていくべきかというのも、今後の課題です。

皆さんにお伝えしたいのは、偏見でもいいので自分で考えたことをいってほしいということです。何かいおうと思えば、まずスマートフォンを見る、これではいけません。スマートフォンを見ずにものをいえるようになってください。偏見でもよい、人に批判されてもよいのです。

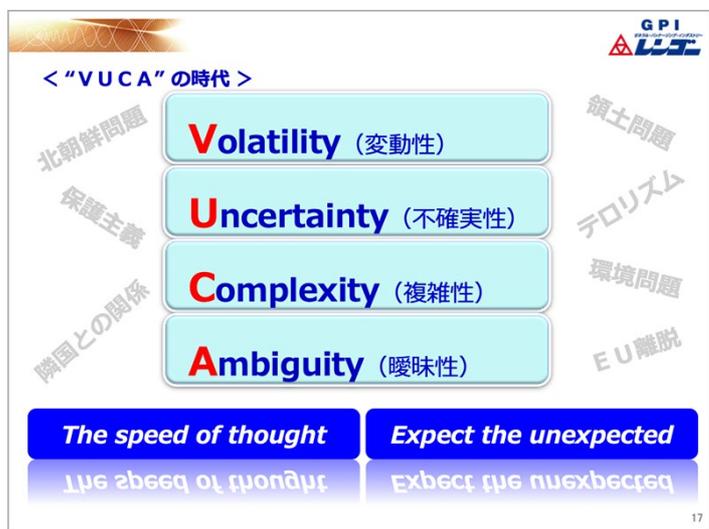
偏見というのは英語で“prejudice”といいます。この語源は、事前に判断するという意味の「pre + judge」です。偏見 (prejudice) は非常に良いものです。個人の意見を話し合い、それでお互いに分かりあって、その意見は採用しないということであれば、それでよいのです。事前に判断する (pre + judge) ことが重要という意味で、私は偏見 (prejudice) を持つようにとっています。

もうひとつは、自分で考えて「仮説」をつくり上げることです。世界中で科学やその他が発展しているその原点は、ニュートンもデカルトも、仮説や偏見から発明や発見を導き出したということであり、世界中で科学が発展してきた原点はそこにあります。

仮説、偏見、このふたつが非常に重要です。全てをcyberに頼るのではなく、仮説でも偏見でもよいので、自分で考えてください。

今、世界中は“VUCA”の時代にあります。

Vは“Volatility (変動性) ”、Uは“Uncertainty (不確実性) ”、Cは“Complexity (複雑性) ”、Aは“Ambiguity (曖昧性) ”です。Volatileというのは、例えばトランプ大統領とイランの関係など、ちょっと火がついたら爆発してしまうような状態のことです。また、世の中は非常に不安定、複雑、曖昧な状態が続いています。VUCAの時代に対して、これからを担っていく皆さんがどう対応するか、そのためには自分で考え判断することが非常に重要です。



「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。」

これはまさしく今の世の中を表している、夏目漱石の『草枕』の一節です。しかし、皆さんはこの地球上に生命をあずかっているのに、住まざるを得ません。そういう時に山道を登りながらゆっくり考えて、「詩が生れて、画が出来る」、そういう対応能力を養ってください。この『草枕』の一節をぜひ覚えておいてください。

< 学生の皆さんに取り組んでいただきたいこと >

夏目漱石『草枕』

山路を登りながら、こう考えた。

智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。
意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

住みにくさが高じると、安い所へ引き越したくなる。
どこへ越しても住みにくいと悟った時、詩が生れて、画が出来る。

人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。
やはり向う三軒両隣にちらちらするただの人である。
ただの人が作った人の世が住みにくいからとて、越す国はあるまい。
あれば人でなしの国へ行くばかりだ。
人でなしの国は人の世よりもなお住みにくかろう。



⇒ ビジネスとは『 Art 』& 『 Science 』である

これも、福沢諭吉の『学問のすゝめ』の有名な一節です。

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」となっていますが、これはその後に「と言えり。」と続いています。「福沢諭吉は“天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず”といて、みな平等であることを説いている」と思ってもらっては困ります。

そして、読み書きそろばんを徹底的にやってほしいとっています。

若い人は自分で文字を書くことが非常に少なくなっています。やはり、読み書き (literacy)、数字の計算 (numeracy) を、今一度思い直して徹底的にやっていただきたいです。字が書けない、数字が計算できないということでは本当に困ります。

< 学生の皆さんに取り組んでいただきたいこと >

福沢諭吉『学問のすゝめ』

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」と言えり。

広くこの人間世界を見渡すに、かしこき人あり、おろかなる人あり、
貧しきもあり、富めるもあり、貴人もあり、下人もありて、
その有様雲と泥との相違あるに似たるはなんぞや。

その次第はなほだ明らかなり。『実語教』に、
「人学ばざれば智なし、智なき者は愚人なり」とあり。
されば賢人と愚人との別は学ぶと学ばざるとによりてできるものなり。

学問とは、ただむずかしき字を知り、解し難き古文を読み、
和歌を楽しみ、詩を作るなど、世上に実のなき文学を言うにあらず。

されば今、かかる実なき学問はまず次にし、
もっぱら勤むべきは人間普通日用に近き実学なり。 (一部中略)



⇒ 『読み書き (literacy) 』『そろばん (numeracy) 』の重要性



非常に面白い、人を茶化したような話ですが、「 $1/2+1/3$ はいくらですか」と聞いたら「 $2/5$ です」と答えた学生がいました。そういうことになっては困ります。今の若い日本人は暗算能力が低下しています。何でもスマートフォンに頼ることが「numeracy」と「literacy」を邪魔してしまっているのです。

次に内田百閒（うちだひゃっけん）の「第一阿房列車」という小説をご紹介します。内田百閒は夏目漱石の弟子であり、ユーモラスな小説を書いてきた人です。その小説の一節ですが、この問題はどこで間違っているかということをちゃんと指摘できる人がいるでしょうか。

これは貸借対照表と損益計算書と資金繰り、バランスシートとプロフィット（Profit：利益） & ロス（Loss：損失）、そしていわゆるキャッシュフローをきちんと理解してもらわないといけません。

～以下、内田百閒『第一阿房列車』本文～

三人で宿屋へ泊りましてね。払いが三十円だったのです。

それでみんなが十円ずつ出して、つけに添えて帳場へ持って行かせたら五円まけてくれたのです。

それを女中が三人の所へ持って帰る途中で、その中を二円胡麻化しましてね。三円だけ返して来ました。

その三円を三人で分けたから、一人一円ずつ払い戻しがあったのです。

十円出したところへ一円戻って来たから、一人分の負担は九円です。

九円ずつ三人出したから三九、二十七円に女中が二円棒先を切ったのでめて二十九円、一円足りないじゃありませんか。（一部中略）

これを説明できる人は手を挙げてください。どこがおかしいか、しばらく考えてみてください。

30円出したら5円まけてくれて、25円だったとします。5円返ってきましたが女中さんが2円ポケットに胡麻化して1人1円ずつ返しました。そうすると1円ずつ返して9円ずつ $9 \times 3 = 27$ 円、女中が胡麻化した2円を足すと29円。1円足りなくなりました。



これは、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフローの基本が身につけば分かります。確かに一読するとたまされそうになりますが、まずバランスシートで考えてみましょう。最初にあった30円という資産。それが宿屋側に27円（帳場に25円、女中に2円）移り、手元に残ったのが3円、合計30円と、ちゃんとお金があいます。一方キャッシュフローでみると、まず30円出て、5円戻り、再び2円出る。手元に3円残ります。これも帳尻があいません。要は、2円というキャッシュフローの移動と、27円というバランスシートの数字を足すからおかしくなるのです。

< 学生の皆さんに取り組んでいただきたいこと >

内田百閒『第一阿房列車』

三人で宿屋へ泊まりましてね。払いが三十円だったのです。それでみんなが十円ずつ出して、つげに添えて帳場へ持って行かせたら五円まけてくれたのです。

それを女中が三人の所へ持って帰る途中で、その中を二円胡麻化しましてね。三円だけ返して来ました。

その三円を三人で分けたから、一人一円ずつ払い戻しがあったのです。十円出した所へ一円戻って来たから、一人分の負担は九円です。



九円ずつ三人出したから三九、二十七円に女中が二円棒先を切ったので、二十七円、一円足りないじゃありませんか。
(一部中略)

⇒ 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフローの基本をしっかり理解すること

21

貸借対照表、損益計算書、キャッシュフローを混同して考えてしてしまうと、こういうことになります。非常に単純明快なごくごく基本的なことです。お金の流れをバランスシートで追ってはいけません。資産、負債、自己資本の3つを相対的に判断するのがバランスシート、実際のお金の流れをチェックするのがキャッシュフローです。貸借対照表の中の資産、負債、自己資本の流れを追ったものが損益計算書です。この基本を分かっている必要ありません。

せっかく経営学部、経済学部、法学部に通っていても、基本的なことを知らないのでは、社会に出たときに困ることになります。基本をまず分かってほしい。基本を理解するためにはスマートフォンに頼ってはいけません。サイボーグになってはいけません。いわれたことしかやらないのがサイボーグです。サイバーに左右されては困ります。自分の脳を動かすことが非常に重要です。今会社でも、若い人に対して一番困っているのはすぐサイバーに頼って自分で考えることをしないということです。皆さんはそうならないようにしてください。

アダム・スミスはご存じでしょうか。アダム・スミスの最も有名な著書『国富論』についてお話したいと思います。私は神戸大学在学中バレーボール部に所属しており、2年生の後半からキャプテンを務めていました。私たちの時代は神戸大学のバレーボール部はとても強く、1部リーグに所属していました。もともとは4部リーグでしたが、1部リーグにのし上がったのです。

私は、学生時代にあまり勉強はしませんでした。ゼミの担当教官である田中薫教授から「君はバレーボールに打ち込んでばかりで勉強はあまりしないだろうが、せめてこれくらい読んでおきなさい」と渡されたのが『国富論』（An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations）の原書でした。

『国富論』は、分業論（Division of labor）から始まりますが、一番興味を引かれたのが、やはり「見えざる手（an invisible hand）」という言葉でした。

アダム・スミスの言葉で、一番重要な言葉がこの「見えざる手」です。ここで述べられている「見えざる手」は必ずしも今の時代に我々が考えているものと同じではありませんが、言葉としては非常に重要であるといえます。

東日本大震災が起こったとき、最終的に何が一番大事になるかという話の中で、私は「an invisible hand」であるといいました。私は、日本語訳する際に、これをあえて「絆」としました。見えざる手は絆につながっていくようにしなければなりません。

アダム・スミスは、『国富論』の前に、『道徳感情論』（The Theory of Moral Sentiments）を著しています。この著書の内容が『国富論』につながっていることから、『国富論』読了後に『道徳感情論』も読みました。

そこでアダム・スミスがいわんとしたのは、“sympathy”“惻隠の情”、“sentiments”“感情”、“morality”“道徳”、“ethics”“倫理”、“philosophy”“哲学”の5つの原理です。

GPI
神戸国際大学
GPI

< 学生の皆さんに取り組んでいただきたいこと >

アダム・スミス『国富論』
“An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations”

“ division of labor ” 分業論
“ an invisible hand ” 見えざる手

アダム・スミス『道徳感情論』
“The Theory of Moral Sentiments”

“ sympathy ” 惻隠の情
“ sentiments ” 感情
“ morality ” 道徳
“ ethics ” 倫理
“ philosophy ” 哲学



22

私は最近、方々で昨年のラグビーワールドカップにおける日本代表の活躍について話をしています。日本の選手の約半分は、リーチ・マイケルをはじめとした外国人でした。なぜ日本は成功したのでしょうか。なぜお互いに分かりあうことができたのでしょうか。

それは世界共通のラグビー憲章があったからだと思います。ラグビー憲章には、品位（INTEGRITY）、情熱（PASSION）、結束（SOLIDARITY）、規律（DISCIPLINE）、尊重（RESPECT）という5つの価値が示されています。

す。この憲章を通じてお互いに分かりあっているので大成功を収めたのでしょう。

ラグビーにはご存じのとおり、「One for all, All for one」という言葉があります。また、試合が終わったときは「no side」、得点をとったときは「try」です。これらはラグビー憲章から来ている言葉です。これらの考え方を自分たちの生活や勉強に活かしていくことができるのではないかと考えています。

「alone and together」という言葉があります。「一人ぼっちの群衆」という意味です。スマートフォンを使って、メールを打ったり、ラインやフェイスブックを使ったりしていると、自分は一人ではなく、あたかもみんなの中になると錯覚します。しかし、それは本当の意味の人間生活を生きているということにはなりません。やがてサイボーグのようになってしまいます。結束（SOLIDARITY）が重要です。直接的（direct）な対話（dialogue）ができるようにしないとはいけません。

先日、江田島にある海軍兵学校を訪れました。

世界には三大海軍兵学校があるといわれています。アメリカのアナポリス、イギリスのダートマス、そして江田島です。

日本は昭和20年に敗戦しました。アメリカが占領軍として日本にやってきたときに、江田島兵学校にあった言葉を訳して驚いたといえます。これは「五省（Five Reflections）」というもので、英訳されてアナポリスとダートマスの兵学校にも貼ってあったそうです。当時、海軍兵学校で学んだ人は消灯の際、必ず口ずさんだそうです。

至誠に悖るなかりしか

（誠実さや真心、人の道に背くところはなかったか）

言行に恥ずるなかりしか

（発言や行動に、過ちや反省するところはなかったか）

氣力に欠くるなかりしか

（物事を成し遂げようとする精神力は、十分であったか）

努力に憾みなかりしか

（目的を達成するために、惜しみなく努力したか）

不精に亘るなかりしか

（怠けたり、面倒くさがったりしたことはなかったか）

皆さんには今日以降これを寝る前に反復して、覚えてほしいと思っています。

GPI
GRIFFIN PARTNERSHIP
LIFE

五省

至誠に悖るなかりしか
（誠実さや真心、人の道に背くところはなかったか）

言行に恥ずるなかりしか
（発言や行動に、過ちや反省するところはなかったか）

氣力に欠くるなかりしか
（物事を成し遂げようとする精神力は、十分であったか）

努力に憾みなかりしか
（目的を達成するために、惜しみなく努力したか）

不精に亘るなかりしか
（怠けたり、面倒くさがったりしたことはなかったか）

25